

減収・コスト増・採用難…三重苦の時代を「生産性向上」で解決

繁忙期の待ち時間にお悩みの皆様へ

開催日時 2026年 5月10日(日)・5月31日(日) 10:00~11:30 (ログイン開始:開始時刻30分前) ※講座内容はすべて同じです。ご都合のよい日時をおひとつお選びください。

開催方法 オンライン開催

【お申込み期日】銀行振込み:開催日6日前まで・クレジットカード:開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合もございます。

受講料 一般価格 税抜 10,000円 (税込 11,000円) / 一名様 会員価格 税抜 8,000円 (税込 8,800円) / 一名様 ※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバースPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

Table with 2 columns: 講座 (Lecture) and 内容 (Content). It lists four lectures: 1. Eye clinic goals, 2. Impact of reimbursement changes, 3. Practical steps for efficiency, 4. Summary of the seminar. Each lecture includes a speaker's name and affiliation (野田 陽一郎 or 渡邊 栄).

お申込み方法 (Application Method) section. Includes QR code for mobile, PC application URL (https://www.funaisoken.co.jp/seminar/140073), and contact information (E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp, TEL: 0120-964-000).



Online Seminar banner for 2026年 5月10日・5月31日. Text: 増収と効率化を両立する 戦略を徹底解説 (Increase revenue and improve efficiency, thoroughly explain strategies).

令和8年診療報酬改定対応! 新しい眼科繁忙期対策モデル大公開

減収・コスト増を「業務移譲」と「スタッフ戦力化」による診療効率化で打破

- 「新しい眼科繁忙期対策モデル」クリニックの特徴
- 診療スピードの壁(1時間あたり15人・20人・25人)を突破する違いとは?
- 細かい加算対応を自主的に行えるクリニックの特徴は?
- ベースアップを有効活用できているクリニックの特徴は?
- DXツールを院内一体でスムーズに導入できているクリニックの特徴は?



毎なお悩みの繁忙期、解決への糸口が見つかります! (Every year, you find a solution to your busy period worries!)
- 【診察スピードの壁を突破】待ち時間はどこで発生しているのか? 外来オペレーション各所での待ち時間発生理由と対策をお伝えします。
- 【DX・権限移譲で煩雑さを打破】ドクターの生産性を最大化する! 権限移譲・ツール活用によるドクターのリソース最大活用と負担軽減策をお伝えします。

詳細は中面をご覧ください! (Details on the middle page, please!)
- 主催: Fundai Soken (Sasutenagurooskanbanerimotto)
- 株式会社船井総合研究所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階
- お問い合わせNo. S140073
- QR code for registration

当社ホームページからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右検索マークから「お問い合わせNo.」を入力ください。) → 140073

繁忙期こそ成長のチャンス！成長の半年とするか、いつもと同じ半年を過ごすか

眼科がとらえるべき今後の時流

1. 賃上げと生産性向上対策

診療報酬改定にて賃上げ対応はあるものの、ここ数年の人件費高騰を受けて、“本当の意味での生産性向上”対策が必要となっています。

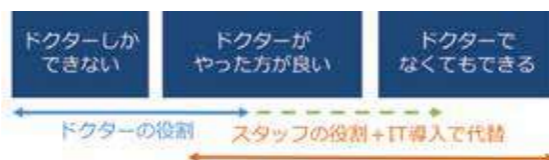
- 診療報酬の減少
- 人件費上昇
- 採用難
- 人口減少
- 材料費・器械代の上昇

こうした環境下では、既存スタッフの労働生産性向上が最優先課題になります。眼科では、主に、医師・看護師・視能訓練士・事務の従事者に加え、臨床検査技師スタッフがいる医院もあります。少ないスタッフ人数で多くの患者様を診ようとすると、必然的にマルチ化を推進し、各部門では専門分野に特化することが必要になります。

(対応例)

受付・会計・事務はレセプト、カルテ出しなどに時間を取り、視能訓練士や看護師が隙間時間でサポート

検査：小児、斜視、弱視は視能訓練士が時間を取り、それ以外については看護師が補助



2. オペレーションDX・受付省人化

診療報酬改定においても電子的診療情報連携体制整備加算が新設され、各クリニックで対応が進んできています。こうした中医療現場向けの様々なツールが出そろい、デジタル化・DX化による生産性向上が目指せるようになってきています。生産性の向上のためには、診療自体の効率化は進めていく必要があります。診療効率化は多くの患者様を診るだけでなく、先生のご負担軽減にも役立ちます。診療単価が恒常的に上がる見込みが薄い現状においては、省けるムダを徹底的に省き、必要なところにリソースと時間を割ける体制へシフトしなければなりません。特にクリニックにおける最大の鍵となるのは「ドクターの生産性」です。ドクターにしかできない業務は何かを見極め、その限られた時間と労力を最大限に発揮できる診療体制を追求していく必要があります。

(対応例)

- ・動画・ツールの活用による疾患説明の短縮・標準化
- ・WEB問診等の導入による問診ヒアリング時間の削減
- ・診察室内での診断業務への集中
- ・予約体制の整備



3. 選ばれる眼科クリニック

人口動態の影響もあり、眼科業界も成長期から成熟期へとライフサイクルが転換しつつあります。今後の競争激化に備え「選ばれる眼科」を目指すことが重要となってきます。“選ばれる”ためにはどのようにすればよいのか。それは「治療の質」とともに、「病院＝行きたくない場所」というイメージを払拭し、「あのクリニックのドクターやスタッフに診てもらいたい」と感じていただくことです。クリニック・ドクター・スタッフに会いたいと思っていただくファン患者作りが、今後の重要な経営指標となります。



本セミナーに参加することで解決の糸口が見つかります！

繁忙期対策①

待ち時間はどこで発生しているのか？

外来オペレーション各所での待ち時間発生理由と対策をお伝えします。

- 1 曜日や時間帯による繁閑差が激しく、特定の曜日(月・金午前、土曜など)が混雑する
- 2 受付業務が滞りやすく、待合室が常に混雑している
- 3 検査機器の不足や配置の問題で、検査待ちが発生している
- 4 暗室検査の予約・運用体制が非効率で、検査がスムーズに進まない
- 5 診療開始時(朝一番・午後一番)の立ち上がりに時間がかかっている
- 6 全体の待ち時間は長いのに、診察室ではドクターの手が空く時間が発生する
- 7 ドクターばかりが忙しく、スタッフの稼働状況に偏りが見られる
- 8 点眼薬の確認や質問対応などで、一人ひとりの診察時間が長引いてしまう
- 9 会計待ちの時間が長く、患者様からのクレームに繋がっている
- 10 診療終了後の作業に時間がかかり、スタッフの残業が常態化している など

繁忙期対策②

ドクターの生産性を最大にする！

業務移譲・ツール活用によるドクターのリソース最大活用と負担軽減策をお伝えします。

- 1 外来オペレーション改善において、最も重要な「肝」とは？
- 2 診察室の稼働率を最大化するための仕組みづくり
- 3 「患者満足度の向上」と「診療効率化」を両立させる関係性
- 4 診療効率を最大化する、診察室内の最適な人員配置と体制
- 5 診察室において、スタッフへ業務移譲できるポイント
- 6 業務移譲を成功させるための、スタッフへの効果的な働きかけ方
- 7 診療効率化に直結する、本当に役立つITツールとその活用法
- 8 新しいツールや体制をスタッフに受け入れてもらうためのコミュニケーション
- 9 クリニックの規模に応じた、スタッフの適正人数と体制の目安
- 10 改善効果を可視化する、患者満足度の具体的な測定方法 など

セミナーでは実際の成功事例を交えて徹底解説します！